



令和4年6月22日発行

立山町教育センターだより 号外5

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

昨日は夏至でした。明るい時間が長い時期です。時間がいくらあっても足りない程忙しい学校ですが、なんとか車のライトを付けなくてもよい時刻に帰宅できるようにと思っております。今日は水曜日。早く帰宅する日ですね。

訪問研修を終えて③

舟橋中学校

研修主題 : 自ら考え、共に学び合う子供の育成

生徒が主体的な学び合いを実践するためには、「得た学び」をしっかりと身に付け、活用できることがその礎になると考え、上記の研修主題の具体化に取り組みました。「得た学び」とは、教科ならば、授業での知識・技能や見方・考え方、特活であれば話し合いで得た気付きや合意形成したこと、決定事項にあたります。それらを定着させるための手立てについて、以下のことを学校訪問研修で学びました。

<明らかになったこと>

- ・知識・技能の定着のために、教え込むことも大切だが、生徒からの考えを基に授業を組み立てていくことも大切である。生徒に言語化させながらポイントや疑問点を拾わせるなどして授業を展開することが、見方・考え方を耕すことに繋がる。
- ・特活の基本はトライアンドエラーの繰り返しであり、「なすことによって学ぶ」ことが大切である。「話し合い」によって腑に落ちる場面をつくり、大切だと感じることであれば今後の定着に繋がる。



<残された課題>

- ・振り返りやまとめの時間を確保できないことがある。その授業中にできない場合は、後日に設定するなど、確実に実施していくことが大切である。特活においては、実践後の学級会で振り返りを行うことが重要である。
- ・知識・技能の定着のために、言語化による発表や、記述、学び合いの中での意見の交流等を通して、得た学びをアウトプットする授業展開を実践する。

自己の変容を自覚できる振り返りを行い、得た学びを確実に定着させる授業を実践、研究していきたいと思っております。

文責 教務主任 森川 康裕

